

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	四季の森公園
指定管理者	横浜緑地・西武造園グループ
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt; 1 管理運営等の状況 &gt;                  実施計画の提案に基づき、遊びながら多様な動植物と出会える「里山フィールド」づくりや、ボランティアとともに「地域文化の継承と里山の魅力を伝えるイベントを実施」するなどの取り組みをした。特に取り組みとしては、本公園の特色を利用した自然と触れ合うイベントを多く開催し、テーマも小さなお子様からお年寄りまで多くの方がイベントに参加できるような工夫が見られる。「公園所長のヒガンバナガイド」は本年度から行われ好評を呈した。</p> <p>&lt; 2 収支状況 &gt;                  収入支出については、サクラの開花時期の影響を大きく受けることなく安定しており、収支ともに対収支計画比で±5%以内、対収支計画比で収支差額1.6%の増といった良好な収支状況であった。</p> <p>&lt; 3 利用状況 &gt;                  様々な活動にも積極的に取り組みを行った結果、今期の利用者数の前年対比はサクラの開花時期が大幅に早まったことにより4.9%とわずかに減少したものの、目標対比で14.3%と大きく増加していることは評価できる。</p> <p>&lt; 4 利用者の満足度 &gt; &lt; 5 苦情・要望等 &gt;                  利用者満足度調査の結果や苦情・要望等に対する対応状況も良好である。特に苦情要望等に対しては、管理車両に鈴をつけたり展示室に早急に老眼鏡を置くなど、敏速かつ工夫がみられることは評価できる。</p> <p>&lt; 6 事故・不祥事等 &gt;                  軽微な事故等が発生したが、適切に対応している。</p> <p>&lt; 今後の方針等 &gt;                  今後も引き続き地域等と連携しイベント等の開催による積極的なサービス向上を行うとともに、維持管理面においては、強風時等の倒木・落枝等がないような安全な樹木管理に一層努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	公園の自然林、里山林内、林縁、草地、湿地などに生息する公園各所に特有な動植物を守り育てる管理を行い、来園者が本公園を巡り、遊びながら多様な動植物と出会えるフィールドをつくる。	キンランやクマガイソウなどの早春植物やハナショウブ、ヤマユリなど、公園を代表する植物の保全生育を行い、本年度の生育数調査でも増殖を確認している。また、そうした植物も含めた当公園の魅力を、特別講座や所長ガイド、あるいはHP、メール配信、情報板などにより、来園者に伝えることに努めた。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	現在森の管理や稲作に協力して頂いているボランティアの皆様と共に、地域文化の継承と里山の魅力を伝えるイベントを実施する。また、新たに広い分野のボランティアを募集し、多様で魅力ある公園を目指す。	ボランティアの方々と協力し、近隣小学校を中心に稲作教室、森林環境学習など地域文化の継承や、自然体験学習を実施、数々の里山の魅力を伝えるイベントを実施した。また、これまでご協力頂いているボランティアの方々に加え、個人で参加して頂くスマイリングパートナーとして、登録型のボランティアの募集を行い、活動を始めて頂いている。
3 (指定管理業務)	管理事務所やビジターセンターは公園の情報発信拠点として、里山の仕組みや公園の特徴、動植物情報・ボランティア活動状況・イベント情報など、常に新しい展示を引き続き行う。	北口管理事務所前に生物情報板を常設し、四季折々の動植物をタイムリーに紹介した。ビジターセンター内には、大型の生物情報マップを設置し、来園者の情報も書き込んで頂いた。ビジターセンター内の展示コーナーでは公園を題材にした写真展や絵画展を継続的に行い、また里山の仕組みや公園の特徴、動植物の解説、ボランティア活動状況・イベント情報など常に新しい展示を行った。
4 (指定管理業務)	体の不自由な方にも楽しんでいただけるように、「バリアフリールートによる自然観察」「手話を用いた体験教室」などのイベント開催を検討、継続する。里山環境を活かした自然観察会（里山ガイドウォーク）では、誰でも楽しく参加できるような「初心者向けのコース」と併せて、「専門性が高いコース」も実施する。1日体験だけでなく、連続講座も開催しリピーターを確保する。	手話通訳付の特別観察会を4月のサクラ、7月のヤマユリ(2回の連続講座)で行った。また県立緑養護学校の児童と森林体験を行うなど、体の不自由な方にも里山の魅力を伝えるイベントを開催した。毎月開催する自然観察会の参加者が顕著に増加し、加えて専門性の高い7月のヤマユリ連続講座や、9月に行った「公園所長のヒガンバナガイド」など、視点を変えた解説を行い、多くの方々に参加して頂いた。
5 (指定管理業務)	地元関係機関や近隣の方々と連携を図り、本公園の安全性や利便性を向上させるとともに、地域の方々とともに育てる公園づくりを行う。地元自治体（緑区他）・中山商店街・町内会・公共交通機関などと連携を密に図り、防犯や災害時などの安全確保や、お祭・イベント時の利用促進の面で相乗効果を図る。	地元の自治会を中心とした公園清掃とパトロール、マンション自治会の清掃イベントや近隣企業のCSR活動など、地域の方々とともに育てる公園を目指した。4月には、地元行政、商店街、自治会、各種団体に加え、横浜動物公園ズーラシアや、新治市民の森愛護会、横浜農協の参加も募り、地域が一体になった、四季森公園まつりを開催した。

## (2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月3日	○	○	○	無	
5月	6月10日	7月1日	○	—	○	無	
6月	7月10日	7月31日	○	○	○	無	
7月	8月9日	9月3日	○	—	○	無	
8月	9月10日	10月3日	○	○	○	無	
9月	10月10日	11月8日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

## 2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		87,053	0	12,723	99,776	99,776	0	
年度計画	前年度	78,330	0	11,000	89,330	89,330	0	
	上半期	39,097	0	6,587	45,684	45,684	0	
	下半期	39,233	0	4,413	43,646	43,646	0	
	今年度	78,330	0	10,000	88,330	88,330	0	
	上半期	39,194	0	6,000	45,194	45,194	0	
	下半期	39,136	0	4,000	43,136	43,136	0	
上半期実績	4月	4,529	0	913	5,442	5,425	17	
	5月	5,795	0	1,645	7,440	7,911	▲ 471	
	6月	6,895	0	1,240	8,135	6,946	1,189	
	7月	9,320	0	1,022	10,342	9,798	544	
	8月	5,551	0	652	6,203	6,898	▲ 695	
	9月	7,104	0	934	8,038	7,896	142	
	上半期合計	39,194	0	6,406	45,600	44,874	0	
	対収支計画比	0.0%		6.8%	① 0.9%	② ▲ 0.7%	③	1.6%
参考	前年度 上半期実績合計	39,097	0	6,137	45,234	41,941	3,293	
	対前年度 上半期実績比				0.8%	7.0%		

※その他収入の内容 都市公園の駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	856	身障者用トイレ引き戸補修工（499千円）、放送設備修理工（357千円）
下半期		
合計	856	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等  
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等  
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	72,190 人	90,635 人	79.7 %
5月	65,717 人	58,974 人	111.4 %
6月	80,736 人	85,286 人	94.7 %
7月	45,465 人	46,173 人	98.5 %
8月	45,070 人	45,669 人	98.7 %
9月	43,899 人	44,429 人	98.8 %
合計	353,077 人	371,166 人	95.1 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	353,077 人	371,166 人	309,000 人	① 114.3 %	② 95.2 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	353,077 人	371,166 人	309,000 人	14.3 %	▲ 4.9 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	半期ごと	その他の場合の基準
	過去数年間平均	

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	各種イベントへの参加者の増、および学校遠足等の利用者が多かったこと等によるもの。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	234						234
年間利用可能日数	359						
最大人数	84,006	0	0	0	0	0	84,006
半期	42,003	0	0	0	0	0	42,003

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	55	33	5	4	0	97	88 ( 91.0% )

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 97 件

回収 97 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

##### 受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	10	5	0	4	13	32
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 2 )	( 0 )	( 2 )

##### 苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	売店、自販機、駐車場が少ない	近くの売店を紹介、地形的な制約等を説明
	トイレを洋式にして、扉が重い	和式、洋式の特性を説明。扉は県により修繕済
職員対応	管理車両にびっくりする	徐行、来園者優先を確認。車に鈴を付けた
	花を取られても知らんぷり	状況不明だが、職員で植物保全の大切さを確認
事業内容	駐車場の不正利用がある	運転者に確認し、御遠慮頂いた。看板設置確認
	花の名札をもっとつけて	見苦しくない状態での解説等を検討
その他	蜂が多い。蜂を何とかして	トラップ設置。可能な巣は基本的に即日撤去
	展示室に老眼鏡を置いて	老眼鏡を設置

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望等への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		